

令和6年度 静岡大学人文社会科学部
私費外国人留学生選抜試験問題

言語文化学科
[小論文] (RG)

令和6年2月4日(日)
9時30分～10時50分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題用紙 (この表紙を除く)	2	枚
解答用紙	2	枚
下書用紙	2	枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じマスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

RG

(言語文化学科は、小論文は英文読解を含みません)

- 以下の文章を読んで、設問に日本語で答えなさい。

著作権の関係上，公表しません。

著作権の関係上，公表しません。

(尹雄大『やわらかな言葉と体のレッスン』(2015年)より。原文の太字を修正)

【設問1】以上の文章を読んで、著者が言及する言葉の“濃度”とは何を指しているのか、200字程度でまとめなさい。

【設問2】あなたの出身国において、コミュニケーションを取る際、意味の「わかる・わからない」と言葉の“濃度”に注目することの、どちらがより重要だと考えられるか。あなたの出身国の習慣について説明しながら、400字程度で論じなさい。

採点・評価基準 (具体的基準)

教科・科目名	小論文
実施学部・学科等	人文社会科学部言語文化学科
出題のねらい	<p>受験者の日本語読解力及び作文力を問うと同時に、コミュニケーションにおけるバーバルとノンバーバルの情報伝達の違いについての受験者の問題意識を確認する。設問1においては、受験者が学業を進めるうえで必要な日本語読解力を備えているかどうかを確認する。設問2においては、受験者がバーバルとノンバーバル・コミュニケーションの違いとその働きについて普段から意識をしているかどうか、出身国の習慣を客観的に考察できるかどうかを確認する。またそれぞれの文章を日本語で書かせることによって、文章の正確な理解、自分の意見の表明、それぞれにおける日本語活用能力をみる。</p>
採点基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設問で要求される特定の話題についての特別な専門知識は要求しない。しかし設問を手がかりに、自分の考えをまとめるための、言語文化に関する最低限の知識を持っているかどうかは評価の対象とする。 2. 設問1については設問を正しく理解し、問題文の内容を正確にまとめられているかどうかを評価する。 3. 設問2については、設問の要求を満たす適切な例を挙げられているかどうか、また客観的かつ論理的にしっかりと論じられているかを評価する。 4. 設問1、設問2ともに、正しい日本語で書かれているかどうかを評価する。 <p>配点 設問1 100点 設問2 200点 合計 300点満点</p>